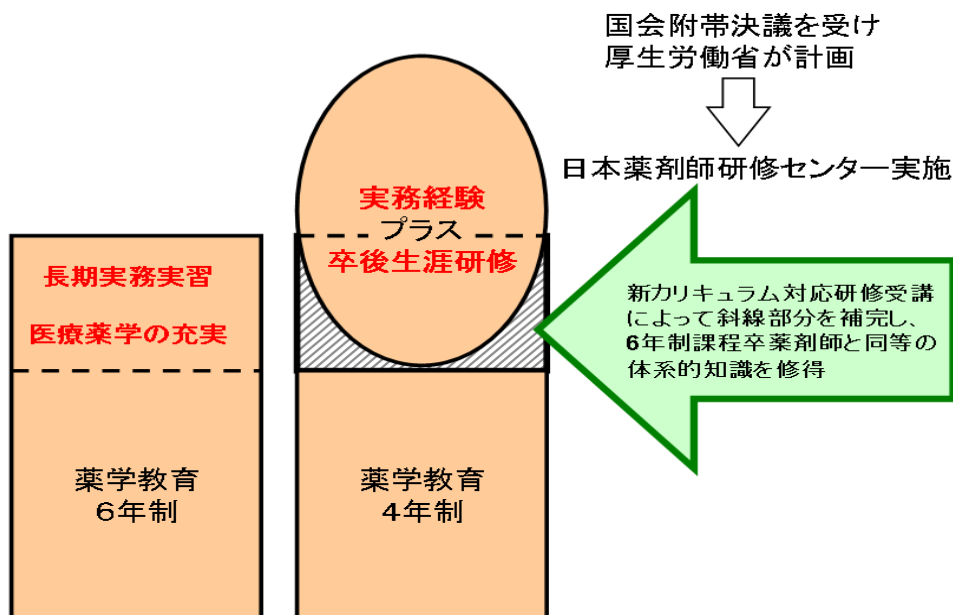


新カリキュラム対応研修の実施

6年制薬学教育を受けた薬剤師の誕生を見据え、4年制薬学教育を受けた薬剤師が、6年制新カリキュラムの内容を任意で修得できるよう、日本薬剤師研修センターは、平成19年度より「新カリキュラム対応研修」プログラムを開始しました。

本研修は、厚生労働省補助事業として、日本薬剤師会、日本病院薬剤師会、薬学系大学、日本薬剤師研修センターからの委員により構成された「大規模生涯研修計画検討委員会」で検討されたものです。



新カリキュラム対応研修は、4年制卒業薬剤師が、卒前の教育課程及び卒後の各々の実務の現場において習得できなかった知識、技能、態度を身につけることを目的に、薬学教育モデル・コアカリキュラムを念頭におき、6年制課程で拡充された医療薬学及び長期の実務実習を中心に、各人の経験、時間的余裕を考慮し、必要なものを、必要なだけ、必要なときに選べるような研修プログラムとして作成されています。具体的には、以下に記す 自己研修、 講義研修及び 実務研修の3つより成っています。

なお、この3つの研修すべて、お申込と単位取得は、当センターホームページ上の「薬剤師研修支援システム」より行っていただきます。まずは「薬剤師研修支援システム」のご確認と、個人情報の新規登録(無料:1回のみ)をお願いいたします。

1. 自己研修

薬学教育モデル・コアカリキュラムより、6年制課程で導入され4年制課程で未履修の部分を抽出し、特に重要と考えられる354項目を研修の範囲としています。カリキュラムごとに修得度を評価するための確認問題 単元テスト 修了テストも入った CD 1枚に収めました。研修を受けようとする薬剤師は、「薬剤師研修支援システム」で受講申込を行い、本 CD を使用して自宅のパソコンで学習のうえ、本システムで修了報告をします。対象は、4年制課程卒のすべての薬剤師です。

2. 講義研修

代表的な疾患についての病態生理と服薬指導に関する、専門の医師と薬剤師による集合研修会を平成 19 年度下半期に実施しました。その研修会で収録した講義を、平成 20 年 4 月以降、CS-TV 研修、ビデオ(DVD)集合研修として実施する予定です(内容は表 1 参照)。研修を受けようとする薬剤師は、「薬剤師研修支援システム」で受講申込を行い、CS-TV またはビデオ(DVD)で研修のうえ、本システムで修了報告をします。対象は、4 年制課程卒のすべての薬剤師です。

表 1 講義研修内容

領域	具体的内容	領域	具体的内容
1. 消化器領域	肝疾患	6. 呼吸器領域	気管支喘息、COPD 他
2. 代謝性領域	糖尿病	7. 腎・泌尿器領域	排尿障害
3. 高リスク患者領域	妊産婦・小児・高齢者・末期がん患者	8. 腎・泌尿器領域	腎疾患
4. 心・血管領域	不整脈・心不全	9. 骨・関節領域	関節リウマチ・骨粗鬆症
5. 心・血管領域	高血圧・脳血管障害	10. 精神科領域	

3. 実務研修

4 年制課程卒業生が卒後の実務においても修得し得なかったものや、自分に経験できない分野について、薬局または病院において実際に実務に携わりながら行う研修です。実務研修コース(保険薬局研修 4 コース、病院研修 6 コース)(表 2)があります。各コース 10 日間程度とし、日常業務に多忙な実務薬剤師が、随時、自分に必要なコースを選択し、同施設で違うコース、同じコースを複数の施設で、という受講が可能です。ただし、お申し込みは、1 コース毎となります。研修を希望する薬剤師は、「薬剤師研修支援システム」にて、当センターに登録されている研修受入施設に研修申込を行い、研修終了後、終了報告書を提出したうえで、本システムで修了報告をします。

表 2 実務研修コース

コース	内容	コース	内容
一般研修	処方監査、調剤、薬歴管理、服薬指導等	一般研修	処方監査、調剤、リスク管理等
【保険薬局】 特定分野	漢方薬調剤	【病院】 特定分野	病棟業務
特定分野	薬局製剤	特定分野	治験
特定分野	居宅等業務	特定分野	医薬品情報
		特定分野	救急医療
		特定分野	注射・栄養管理

本事業に関する最新情報は、順次、研修センターホームページ (<http://www.jpec.or.jp/>) にご案内しています。ぜひ、ご覧下さい。「薬剤師研修支援システム」へのアクセスは当センターホームページから行ってください。



(2008.3)